

# 東風

# HARUKAZE

令和2年8月26日発行

## TAP×HEART ふれあいの丘東風週間『ひがし竹灯籠』の取組 予め万が一に備える意識

言語・安全文化



新宮東中校区には豊かな自然があります。

上の写真は立花地区の竹林ですが、**TAP** (Tachibana All Powers) の皆さんのが守ってあります。

管理された自然林や竹林は古来より災害から人間を守ってきました。特に管理された竹は、食料としてはもとより、根を深く張り、茎にあたる竹稈 (たけかん) は“しなやかなで強靭”なため、防風林や水防竹林として重宝されてきました。（徳島県吉野川流域の防水竹林はあまりにも有名です）

しかし、放置された林や森の木や竹は根が浅く、土砂崩れを起こしやすく、風で倒れやすいと聞いたことがあります。大雨で流れてきた倒木や竹が橋に引っ掛かり、洪水を起こしている映像を何度も見てきました。（土砂崩れや倒木には諸説があります。流木は放置間伐材という説もあります。）

林や森を守るために、そして地域を守るためにTAPの皆さんボランティアで「間伐」をされています。右下の写真は、TAPの皆さん休日に作業をされてある様子です。ふれあいの丘東風週間の『ひがし竹灯籠』では、その間伐した孟宗竹（モウソウチク）を使わせていただきます。

### 『離れていても 心はつながろう ~NO TOUCH NOT ALONE~』

東中では、各学級代表の「砂の芸術リーダー」を、本年度は**HEART** (Higashi Entertainment And Real TAKETORO) として組織します。**TAP×HEART**の「×(かけ)」はコラボレーション（創造・創出を目的とした協働活動）の意味で使用しています。

ホームページでは、「『ひがし竹灯籠』開催に向けたTAP×HEARTの取組状況」として随時更新してまいります。ぜひご覧ください。

防災を学ぶ私たち、自助・共助の精神を大切にする私たちだからこそ、予め万が一に備える事前の取組として感染対策の意識と緊張感を高めるとともに、地域の皆様から、自然や地域を守る取組を学んでいきたいと思います。



はるかぜ返信33（担任にご提出ください。必ず校長まで届きます。封筒に入れていただいてもかまいません。）